

玉野市立小中学校適正規模・適正配置計画（宇野中・玉中・日比中）説明会
会議録（概要）

日 時：令和7年6月5日（木）19:00～20:00

場 所：産業振興ビル

対 象：築港地区住民、宇野地区住民

参加者：7名

1 ご質問

○自転車通学の子とそうでない子で友人関係の固定化がされると考えると、最近は電動自転車もあるから、自転車通学の距離は6kmではなく、8kmとかにしてもいいのでは？

→バス通学の範囲の方に対して、自転車通学を禁止しているわけではありませんので、各ご家庭の事情に合わせて、自転車通学を選択していただければよいと考えています。

○バスについて、登下校の便数はどうなりますか？それ以外の時間をコミュニティバスとして活用できませんか？

→スクールバスでの運行は、登校で1便、下校で授業終了後1便と部活終了後1便の計2便を考えています。コミュニティバスとして活用は協働・交通政策課と協議したいと考えています。

○再編すると地域が広がりますが、どのように地域と関わっていきますか？

→広がった地域が自分たちの地域だと生徒が思えるよう、工夫しながら広がった地域と連携した教育活動を行っていきたいと考えています。

○クラスが増えることで教員の数が増えるとのことですが、それ以上に教員を配置することはしないのか？

→再編により1校に配置する支援員の数を増やしたり、可能な限り県から教員を配置できるよう取り組んでいきます。

○地域人材の育成とは、具体的には何がありますか？

→地域のために自分がどうあるべきか、地域をどのようにしていくかをしっかり考えて、そのために力を発揮し、貢献できる人材を育成していく、地域社会をしっかり作り上げていこうと考えられる人材を育成したいと考えています。

○今も中学生に地元のボランティアに来てもらっているんですが、それは今まで通りでしょうか？

→地元と連携したさまざまな活動をしており、そういった活動は引き続き充実させていきたいと考えています。

○来年から自転車は車道を走るようになるとか罰則が強化されるとかの話があり、自転車での通学に不安がありますが、令和9年度までに安全確保がされますか？

→具体的には準備委員会の通学安全部会で検討していくこととなりますが、安全確保に努めます。

○デジタルの活用ができるよう教えていきつつ、学力もしっかりと身に付けさせることができますか？

→人間力や学力を育てていながら、社会がこれだけICT化・デジタル化している以上、デジタルを活用できるよう育成しているところです。

2 ご意見

なし